

唐丹小学校 出前授業（地層はどのようにしてできるのか）

日時： 2014年10月24日

場所： 釜石市立唐丹小学校

参加者： 小学6年生9名

単元： 小6「大地のつくりと変化」

講師： 竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

実施方法：

小6「大地のつくりと変化」単元では、水のはたらきでできる地層のでき方を考え、水槽に土を流しこむモデル実験を通して調べる学習が求められている。今回は、理科室で班ごとに実験ができるよう、発泡スチロールの箱と、流れてきた水を受ける筒状のポリ容器を使った。発泡スチロールの箱の中には、土を入れておき、机上で斜めに設置し、上部から水を流した。流れた土をポリ容器で受け、少し時間をおいてから、土が粒子の大きさに分かれて層になっていく様子を確認した。授業の最後には、テレビモニタを使って、身近にある地層写真や貝の化石を含む地層写真を見せた。

実施結果：

児童は、役割分担を決め、積極的に実験を行っていた。身近にある地層写真を見て、地域のことについても理解が深まった。

